



今月のテーマ

「離床センサー導入事例と効果」

今や転倒・転落対策に欠かせないツールである離床センサーですが、他病院、他施設様の導入台数や効果について関心がある方もいらっしゃると思います。今月号はリスクマネージャーインタビューよりいくつかのユーザー様の離床センサー導入とその運用についてまとめました。ぜひご参考にしてください！

兵庫県・H病院 様

種別：一般病院（240床）
センサー導入台数：40台
病床数に対しての
センサー導入率：

16%

- 導入前の課題：危険行動の察知と対応が困難
- 導入の目的：事故の未然防止
- 主な対象者：ナースコールが使えない方
- センサー充足度：十分とはいえない、導入率30%を目指しています



センサー導入効果

危険行動に対し、迅速な対応が出来る

福岡県・Y病院 様

種別：一般病院（160床）
センサー導入台数：39台
病床数に対しての
センサー導入率：

24%

- 導入前の課題：人的対策には限界がある
- 導入の目的：行動を未然に察知し対応する
- 主な対象者：認知・理解力が低下し、転倒リスクが高い方
- センサー充足度：今のところ足りているが、機種を増やしたい

離床センサーの目的を
果たせて嬉しいです！



センサー導入効果

事故発生件数が激減（導入前の1/5）

石川県・M病院 様

種別：精神科病院（460床）
センサー導入台数：15台
病床数に対しての
センサー導入率：

3%

- 導入前の課題：マンパワーでは行動把握が困難
- 導入の目的：対象者の行動把握
- 主な対象者：認知力、身体能力が低下した方など
- センサー充足度：将来的には導入台数50台を目標としている

予算の関係で導入率が低くても、
効果はあるようですね。



センサー導入効果

行動把握ができ、
転倒・転落事例の発生件数が減少

兵庫県・K 様

種別：特別養護老人ホーム
（50床）
センサー導入台数：12台
病床数に対しての
センサー導入率：

27%

- 導入前の課題：転倒が起きてても発見が遅れる
- 導入の目的：利用者の行動把握と早期対応
- 主な対象者：行動欲求が高い方
- センサー充足度：不足している、年間予算の範囲内で徐々に増やす予定



センサー導入効果

重大事故の防止、事故の早期発見

